

NPOワンポイントアドバイス!

～団体の、中期戦略をつくる時のコツ～

新年度を迎え、この一年の事業計画をたてる団体も多いと思います。その時、5年程度先を見据えた中期戦略も同時に考えることで、より団体の力をつけていくことができるようになります。そこで今回は、団体の「中期戦略」をたてるコツ、をお伝えします。

●「大きな旅のためには、大きな計画」をたてましょう

- ・「中期戦略」は年間計画の延長や拡大版と考えるのではなく、より広い範囲まで視野を広げた上で、社会課題の推移を見据え、自分たちが果たすべき役割、他団体との連携も含めた中で戦略を考えていきましょう。小さな旅（年間計画）は小さな計画でも可能ですが、大きな旅（中期戦略）は大きな計画をたてる必要があります。

●願望から展望へ

- ・NPOの存在意義は「社会をどのようにより良いものに変えるのか」にあります。それを念頭に、「何々してもらいたい」という発想ではなく「課題解決や価値の創出をどう進めるのか」という思いで戦略を考えましょう。

●「すること」「しないこと」を選ぶ

- ・戦略とは、続けること・拡げること・付け加えることではなく、自分たちの団体がすべきことを「選ぶ」ことです。そのためにも、「すること」「しないこと」をきちんと選びましょう。

●「団体が社会にもたらす5大ニュース」をつくりましょう

- ・中期戦略を考える時に必要なことは、「どういう状況を実現するか」という成果目標をたてることです。「団体が社会にもたらす5大ニュース」というテーマで組織内で目標を出し合うと、団体の「より良い未来」の姿がイメージしやすくなります。

参考:『NPOマネジメント 60号』IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]発行



センター長のつぶやき

まちづくりセンター センター長 丸藤 競

3月26日、いよいよ北海道新幹線が開通しました。

東京駅との時間、運賃や運行本数など課題も多く言われていますが、まずは素直に喜び地域全体で大歓迎することが大切なのだと思います。

とは言うものの、よく言われているように、新幹線の魅力だけで函館や道南に来ていただけるのは最初のうちだけです。「新幹線のついでに見てみる街」ではなく、魅力がいっぱいで、「たまたま交通手段のひとつが新幹線だった」という街にしたい。

くでは、地域の活性化はできません。

では、地域の魅力ってなんでしょか?

様々な立場の方が、様々なことに魅力を感じます。だから、何かひとつに絞るのは難しいことだと思います。でも考えてみれば、色んな魅力が集まっているほうがワクワク感が増していきますよね。食べ物や景色、人などは、すぐに思いつく魅力です。でも、そういうワクワクだけでなく、「地域の人々がどれだけまちづくりの主役として動いているか」も大きな要素だと思います。

全国では、市民が中心になってまちをつくっていくための「市民主役条例」を制定する自治体が増えてきました。函館でも、もっともっと市民が主役になっていい時がやってきたと私は感じています。みなさん、魅力づくりの主役になってみませんか!